



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橘通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL：0985(38)8821  
FAX：0985(38)5028

## 高校生の就職を総合的に支援

### 応募前ジュニアワークフェアに184社1158名が参加

県央会場（シーガイアコンベンションセンター）



小林会場（ガーデンベルズ小林）



延岡会場（延岡市民体育館）

宮崎労働局とハローワークは、県や自治体と共催で、来春高校卒業予定者を対象とした県内企業との出会いのイベント「令和3年度応募前ジュニアワークフェア」を開催しました。7月5日シーガイアコンベンションセンター（県央）を皮切りに、都城・県北・小林的計4地区で延べ184社と1158名の生徒が参加しました。

高卒求人が公開となる7月1日以降の早い段階で魅力ある宮崎県内の企業に目を向けてもらうこと、県内就職の促進、早期離職の防止を目的とするものです。会場入口での体温チェックやこまめな消毒等のコロナ感染防止対策を講じた上での実施となりました。

生徒にとっては進路選択においてリアルな情報を得る貴重な機会となり、様々な企業を訪問し担当者の説明に真剣に耳を傾けていました。また企業にとっては、将来を担う若い人材を確保するためのアピールの場として、9月16日の採用選考開始に向け、熱のこもった説明を行っています。



都城会場（早水公園体育文化センター）

ました。

参加した生徒は「企業担当者の話を聞いて志望する企業が決まった」と話していました。

### 宮崎地方

## 最賃審議会開催

### 令和3年の審議が本格的にスタート

審議会では様々な意見が出された



令和3年7月3日、令和3年度第1回宮崎地方最低賃金審議会が開催されました。

審議会では、公・労・使の各委員が参加のもと、宮崎労働局長から審議会会長に対して、宮崎県最低賃金の改定決定について調査審議を求めるとの諮問が行われました。

現在の宮崎県最低賃金は、令和2年10月3日に3円引き上げられ、時間額798円ですが、この諮問により、令和3年の宮崎県最低賃金の改定に関する審議が本格的にスタートすることとなりました。

今後、審議会では、中央最低賃金

## 労働災害防止徹底を呼びかける



7月15日、宮崎県林材業労働災害防止大会が新富町で開催され、県内の林材業事業主や作業従事者、関係機関の代表者など約200人が参加しました。挨拶では田中労働局長が林材業における労働災害防止対策と熱中症予防の徹底を呼びかけ、その後の安全講話で木村産業安全専門官が林材業の安全対策について説明し、さらなる労働災害防止を求めました。



諮問書を交付

審議会の目安答申、経済・企業・雇用動向等の状況、労働者の最低労働条件の確保等の総合的観点から審議が行われることとなります。



### 厚生労働大臣 森部前委員に感謝状を贈呈

令和3年7月2日、宮崎地方最低賃金審議会にて長年貢献されました、宮崎公立大学の森部陽一郎教授に対して、厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。

森部教授は、的確な判断と真摯な姿勢をもって見解を示す等、他の委員から厚い信望と高い評価を得ていたところでした。



森部委員（左）

田中局長（右）



### 安全衛生に係る 宮崎労働局長表彰

# 受彰おめでとう ございます

田中労働局長と受彰された皆さん



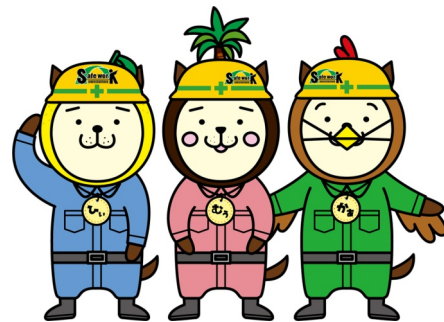
受賞者2名と宮崎労働局長表彰の受賞者8名（4事業場及び個人4名）に対して長年にわたる安全衛生活動の努力と功績を称え、労働局長から受賞者に表彰状が授与されました。

田中局長から各受賞者に対して「県内で働く労働者の安全確保や健康保持増進などに長年貢献していただき、皆様方のご尽力に深い敬意を表しますとともに、今後も地域や職場の安全衛生活動の模範となっていただくことを期待します」との言葉を贈りました。

#### 【大臣表彰】

功績賞<個人>①(公社)宮崎労働基準協会の塩月光夫会長 ②陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮崎県支部の元明吉美支部長

#### 【局長表彰】



優良賞 ①(株)新菱宮崎工場 (宮崎市)

②新生電子(株)都城工場 (都城市)

奨励賞 ①(有)蛸原木材工業 (宮崎市)

②ミツワハガネ(株) (延岡市)

功績賞<個人>①(独法)労働者健康安全機構宮崎産業保健総合支援センター講師の鶴紀子氏 ②(公社)建設荷役車両安全技術協会宮崎県支部指導員の瀬尾和彦氏 ③南那珂地域産業保健センターコーディネーターの新修一氏 ④建設業労働災害防止協会宮崎県支部指導者の濱田憲和氏

7月1日、安全衛生に係る厚生労働大臣表彰伝達授与式及び宮崎労働局長表彰式を宮崎市内で開催しました。今年もコロナウイルス感染予防のため受賞者と労働局職員のみで実施しました。

大臣表彰の伝達授与として功績賞

## 発注機関と行政との連携を要請

### 建設工事関係者連絡会議



協力を要請する松野基準部長 (中央)

7月16日、宮崎労働局は国と県の公共工事発注機関9機関による「建設工事関係者連絡会議」を開催しました。この会議は労働災害の発生を発注段階からの抑制を目的として、労働局と工事発注機関が意見交換等を行いました。

松野基準部長が「労働者が安全・安心して、健康に働くことができる職場環境を実現するため、様々な施策を積極的に取り組んでいく。発注機関と労働基準行政機関が労働災害防止を進めていく上で十分な連携が図れるよう、情報交換、協議を行いたい」と挨拶し、「年末年始建設業労働災害防止強調運動」の実施や熱中症予防対策への協力を要請しました。



宮崎看護大(上) 宮崎国際大(下) 講義する中玉利監理官(丸)

## 大学生労働法を学ぶ

### 宮崎県立看護大と宮崎国際大で労働法制講話

宮崎労働局では毎年学生を対象とした労働法制講話を実施しています。

7月5日に宮崎県立看護大学の1



年生約110名に対し、アルバイトをする際に知っておくべき知識について、労働条件通知書の重要性や労働法はパートやアルバイトなどの身分に関係なく適用されるなどについて事例を交えながら説明をしました。

また、7月9日に宮崎国際大学の3年生約90名に対し、今後就職するにあたって必要な労働法について講義しました。労働法の知識がないことにより不利益を被ることもあり、知識を得ることは自分の身を守るためにも重要であることを強調し、問題が生じた場合は一人で悩まずに労働局や労働基準監督署へ相談するよう説明しました。

出席した学生の多くは講師の説明を真剣に聞いており、この経験を役立ててくれると思います。